第３回大野市文化活動の環境づくり評価委員会 議事録

●日時　令和８年９月３０日（水）午後６時２０分～７時１５分
●会場　学びの里「めいりん」２階洋室（中）

１　開会（委員長）

２　議事

（１）ニーズへの対応の追加後評価結果について
　　事務局から資料に基づき説明【資料１】
＜意見・質問等＞

委員　　資料１は、前回以降に追加・再編した項目の評価を示すものである。追加評価の結果を確認し、報告書に反映することとなる。特に追加項目の評点や、見直すべき点についてご意見はないだろうか。

委員　　２４位に記載されている「昇降する緞帳を設置する」は、そもそもこの講堂で実現できるのか。構造上、昇降式の緞帳を設置することはできないと思われる。

委員　　６位に記載されている「目隠し幕の設置、舞台袖の設置」については、設置可能であると思われる。緞帳については、評価対象としては残しつつ「実際には設置不可」の旨を明記する方法もあるが、いかがだろうか。

委員　　講堂では昇降式の緞帳を付けるのは難しい。実施を期待させる記載は避けるべきだと思う。

委員　　緞帳を含め、２１～２４位に記載されているニーズは実現性の低い案が混じっている。例えば、２１位の「舞台の拡張」でステージを２m前に広げる案は、舞台だけでなく客席や空間全体の使い方に影響するため、総合的に考えると現実的ではない。「対応の必要性が低い」グループの対応時期欄には、実施が難しいことが分

かる説明を加えた方がよいと思う。また、記載について「今後要検討」では、さらに検討する予定があるように見えてしまう。評価委員会としては、実施が困難であると判断し、誤解を招かない表現に修正させていただく方がよいだろう。対応時期の資料については、この後の報告書でも改めて確認するため、資料１について承認してよいだろうか。

【評価委員全員が賛成のため、議事(１)について資料１のとおり承認】

（２）（仮称）大野市文化活動の環境づくり評価報告書について

事務局から資料に基づき説明【資料２】

＜意見・質問等＞

委員　「約６割の団体が利用を検討している」という記載について、めいりんの利用を考えているそれらの団体が実際に利用できるよう、この報告書の中で確認や検討しているような内容はあるだろうか。改修後にどのように活動を受け止めるのか、説明があるとよいと思う。

委員　設備の評価とは別に、約６割の団体の利用希望を施設の利用枠で受け止められるか、というご指摘である。既存の利用で枠が埋まっていれば、そのまま全てを受け入れることは難しくなる。

委員　施設が整備、充実することは素晴らしいことである。めいりんで団体が活動を続けられる見込みについて、一言でも説明があるとよいと思う。

委員　課題があることだけを強調するより、多くの団体が利用を検討しているからこそ、より使いやすく整えていく、という表現がよいと思う。

委員　文化会館で活動してきた団体を、新たな活動の場で受け止めるという前向きな趣旨を示したい。課題を挙げるだけで終わらず、評価委員会で検討した内容がその課題にどう応えるかを記載してはどうか。

委員　　よりよい環境づくりを目指す趣旨が伝わるよう、記載を調整するのがよいと思う。

委員　　文化会館からピアノを移設しているが、講堂にあったピアノや、移設後のピアノの置き場所はどうなっているのか。

事務局　　文化会館にあった２台のフルコンサートグランドピアノの内、１台をめいりん講堂に移設し、もう１台を有終会館の多目的ホールのステージに移設した。講堂にあった従来のピアノは業者に引き取っていただいた。

委員　　導入コスト合計金額の内訳として「①施設改修対応想定」と「②地域文化課対応想定」とある。例えば、大野市の予算と補助金など外部財源で仕分けするなら分かりやすいかもしれない。この事業別の仕分けは、委員としてこれまでの説明を聞いているため分かるが、市民の方々が見た際に内部の所管名で分ける意味や、どの費用が該当するのか伝わりにくいのではないだろうか。施設改修工事と備品導入など内容が分かる区分にした方がよいのではないだろうか。

事務局　　ご指摘のとおり、記載を修正させていただく。また、対応時期の表など、分かりにくい箇所もあるため、表示方法も見直しさせていただきたい。

委員　　「今後の予定」では、整備を要望するだけでなく、実際に使ってみた利用者の反応や改修した部分の使用感を確認し、次の改善につなげることも記載してはどうだろうか。

委員　　評価委員会から大野市へ、整備後も利用者の声を踏まえてフォローするよう求める文言を加え、報告で終わりとしない趣旨を示すのがよいと思う。

委員　　報告書として、よくまとまっており、分かりやすい内容だと思う。これまでに出た意見に沿って必要な箇所を調整いただければよいと思う。

委員　　この報告書は、誰に向けて提出し、どこで公表するものなのだろうか。

事務局　　今回のご意見を反映した報告書をまとめ、評価委員会としては委員長から市長へご提出いただく方向で考えている。また、大野市のホームページにて公表を予定している。

委員　　評価委員会としては、市から依頼を受けて、専門的知見から評価した結果を、市へ報告するという位置づけである。市はその報告を受けて対応を判断する。

委員　　今年８月に設置したムービングライトの演出照明は、既存の照明操作卓で操作するものだろうか。

事務局　　新たに操作設備を導入した。２階の既存の照明操作卓の隣で、別系統で操作する。配線工事もあわせて行っている。

委員　　その他、ご意見等なければ、本報告書はご指摘いただいた箇所を修正することを条件に承認してよろしいか。修正内容については事務局と私で調整、確認し、皆さんにメールで確認いただきたいと思う。

【評価委員全員が賛成のため、議事（２）について資料２のとおり条件付で承認】

３　その他

事務局　　資料については、委員長と協議の上、修正し最終の報告書を委員の皆様へメールで送付させていただく。市長への報告についても委員長と日程を調整して執り行わせていただく。

４　閉会（副委員長）